

# 月 と 太 陽

6年 組 名前 ( )

## 学習の前に：4年生の学習を思い出してみよう

月は ( ) の地平から上り、( ) の空高くを通過して、( ) の地平に沈む。その動きは( ) と似ている。月の形はいろいろあるが、みな( ) から( ) へ動く。

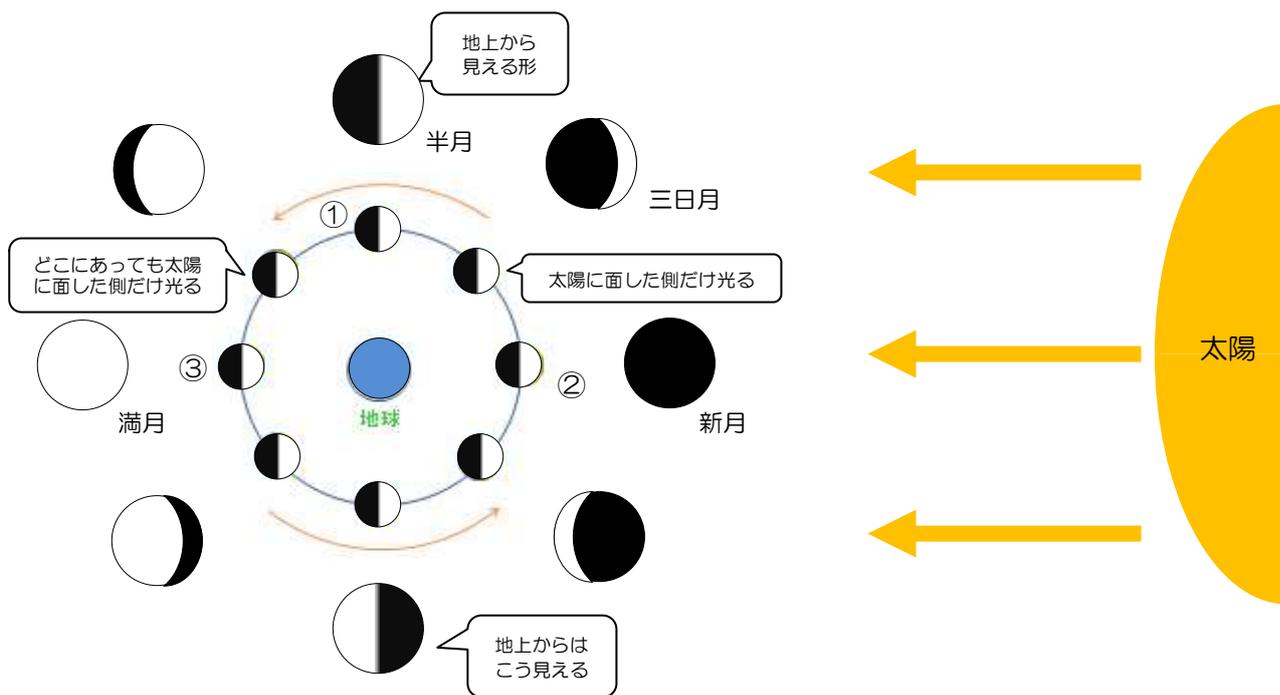
月のかげやいて見える部分は、( ) の光を( ) して光っている部分である。月の形には( ) 等がある。

月は地球の周りを約1か月かけてぐるりと回っている。

## 課題1：月はなぜ満ちたり欠けたりして見えるのだろうか

下の図を見て、考えてみよう。実際にボールとライトで実験出来たらやってみよう。教科書の後ろの方に月の満ち欠けモデルがあるので、切り取って使ってみよう。

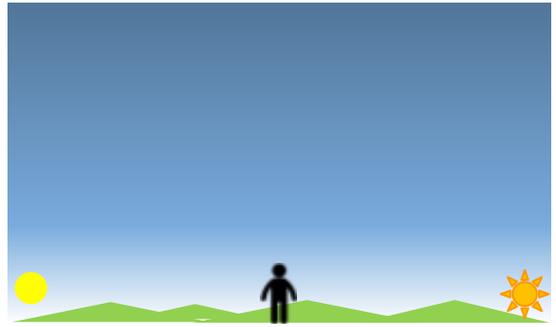
※ 月が光っているのは太陽に面している側。地球から見るとどう見えるか、想像してみよう。



例えば上の図の①の場所に月がある時、月は右側から太陽の光を浴びているので、右側半分が光っているね。それを地球から見ると、左の図のように右半分が光っている半月として見えるんだ。

太陽と地球（自分）と月が直角を作るように並ぶとき、半月になるよ。

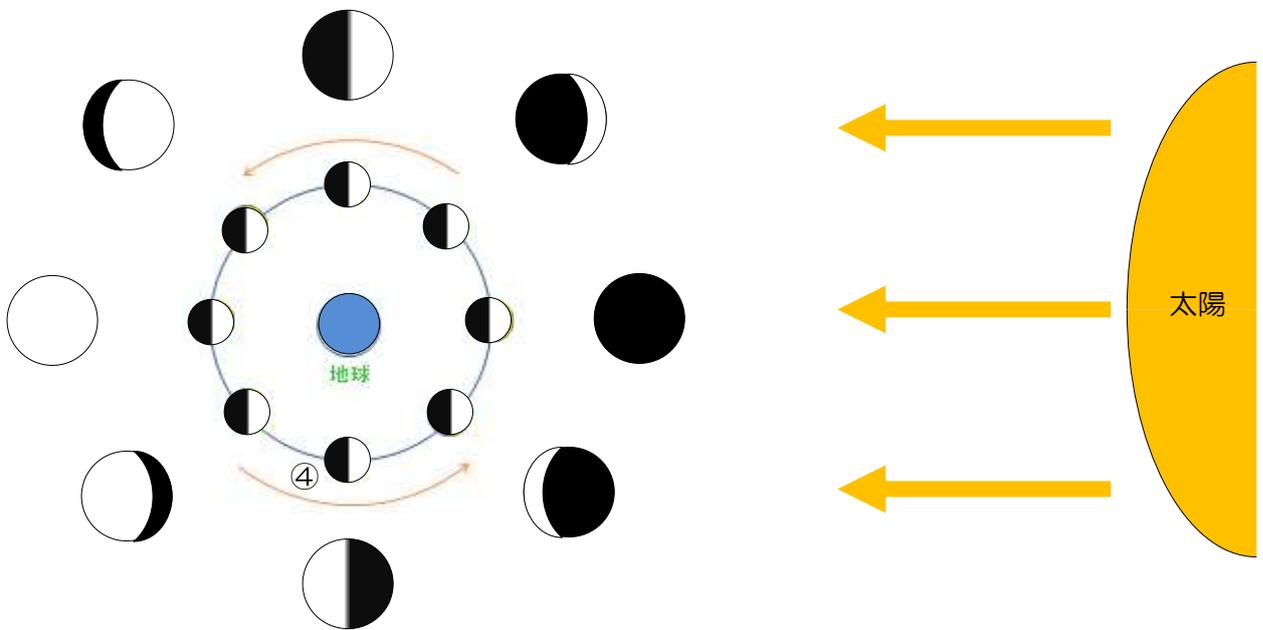
②の場所に月がある時は、太陽の光を浴びている部分がすべて見える。だから満月として見えるんだ。満月は地球をはさんで太陽の反対側にあるから、太陽が西にしずむとき東の空にのぼり、太陽が東に上るとき、西の地平にしずんでいくよ。



③の場所に月があると、向こう側に太陽があるから月の光っている部分は全く見えない。黒い影だけが見える(といっても太陽と同じ方向だから、太陽が明るすぎて見えない)。それが新月だよ。

さあもう一度図を見てみよう。三日月は光っている部分が少しだけ見えているんだよ。

さて、④のところに月があると地上からは左半分が光っている半月として見える。図をさかさまにして考えてみてね。



**結論** 月が満ちたり欠けたりして見えるのは に続けて書くよ

月は太陽の光を反しゃして光っているので、月の輝いている側に ( ) がある。

月の見え方は毎日少しずつ変わっていく。そして約 1 か月 (約 29.5 日) で元の形にもどる。月が太陽と同じ方位にあると ( ) , 地球をはさんで太陽の反対側にあると ( ) 。その中間で ( ) になる。新月から 3 日目の月を ( ) というよ。新月から満月までは約 ( ) 日。だから昔、満月の日を ( ) と言ったんだね。

実際の月を見てみよう。5 月 7 日は満月だから、夕方東の空に上ってくるのが見えるよ。